



7月25日(木)26日(金)27日(土) オッズパーク杯・サンケイスポーツ杯争奪戦

FI

根田がハイパワーでV奪取

7月25日からの川崎競輪はFI戦のナイター開催。オッズパーク杯、サンケイスポーツ杯として行われる。シリーズの中心には南関が誇る大型先行の根田空史(千葉94期)。同県の中村浩士(千葉79期)とのV争いが有力とみた。地元から参戦する齊藤竜也(神奈川73期)や武田憲祐(神奈川93期)、川崎健次(神奈川88期)らも3業勢と連係してチャンスを持つ。東日本第2勢力としては東北勢。層は薄いが新鋭の藤根俊貴(岩手113期)と巧者成田和也(福島88期)の両者が好連係決れば別線を打破する場面も十分だ。西日本勢には自力健在で勝負強さを持つ松岡健介(兵庫87期)や、鋭い差しと高い技術で復調してきている小倉竜二(徳島77期)、長年トップクラスに君臨する井上昌己らと、百戦錬磨のベテランが揃い見応えは十分。前半のA級戦もハイレベルな戦いが展開されそう。S級経験がある末木浩二(山梨109期)、水谷好宏(大阪93期)、日野博幸(愛媛103期)に力を付けてきている牧田賢也(福島111期)、寺沼将彦(東京111期)、曾我圭佑(熊本113期)らの若手機動型が挑む。迎え撃つ地元川越勇星(神奈川111期)も地元の意地で牙城を護りたいところ。

S級主力選手

根田 空史
千葉 94期



地元南関ラインの中心は根田空史。パワフルな先行、まくりは上位でも十分に通用するし、タイトル争いに加わってもおかしくない実力者。官杯を終えてから一ヶ月の配分空きを経て平塚の前検日を迎えた際には「この一ヶ月は

今後のビッグレースに向けて、もししっかり練習して立て直してきた。状態は良いと思いますよ。川崎ですか？意外と走る機会は少ないほうなんですけど、悪いイメージは特にありません」と語る。加えて、「ナイターは苦手なんですよね」とも話していたが、直前も平塚ナイター開催なので体が馴染んでいけば大きな問題は無いとみる。今シリーズは南関勢の機動型がやや手薄ではあるが、同県の中村浩士をはじめ援護陣は多く揃っているため、優勝戦線を中心にみる。

小倉 竜二 徳島 77期



四国屈指のベテランメーカーの小倉は今年がビッグ優出3回と、再びタイトルが見える位置に浮上ってきている。過去には競輪祭を2度、G2を2度制覇しているが、近年は優出さえままならない状況が続いていたが、太田竜馬(徳島109期)や原田研太郎(徳島98期)らの若手が多くトップクラスに昇りつめたことにより、大きくチャンスが広がったことが大きな要因となり好成績を納めている。位置がしっかりとあれば、小倉の高いマーク技術が生かされることは言うまでもなく、新旧の融合で相乗効果が出てきているのだから。清水裕友(山口105期)、松浦悠士(広島98期)をはじめとした中国勢も勢力を増しており、まだまだタイトルを獲れるチャンスは十分にある。今シリーズは中国の若手機動型は少ないが、直線き抜けて来そう。

藤根 俊貴 岩手 113期



デビュー以来、抜群の強さでわずか7ヶ月でS級まで駆け上がりつづけた藤根は上位相手でも力強い走りや存在感が増してきている。ただ1年で早くも54勝を挙げ、6月の向日町ではS級初優勝も達成した。今後の活躍が楽しみな新鋭。青森で連係した師匠の佐藤友和(岩手88期)は「青森の時は早坂秀悟(宮城90期)が相手で良いレースをされてしまっただめでいい。今まで対戦していない強い選手を相手にして、良い経験を積んだと思う。藤根はまだまだあんなものではないと思います。もっと強くなるはず」と藤根の潜在能力の高さ、伸びしろの大きさを語っていた。今シリーズは高い技術を持つ成田和也とタッグを組んでいけば、強力な別線を相手にしても渡り合えるはず。



CR級主力選手

川越 勇星
神奈川 111期



地元南関地区の中心となるのは川越勇星。近況は安定した成績を残しており、S級でも戦えるだけの力を付けてきている。デビュー当初はなかなか流れに乗れず脚力が生かし切れていない感があったが、レースを消化することに柔軟な走りが身に付いてきており、大敗が減って着がまとまってきた。現在は積極先行という走りではないが、勝負所での思い切りという走りも持っている印象はある。今シリーズは予選からスタートする吉元大生と共に南関地区の2枚看板。結果も求められる開催となる。父の義朗(61期)引退は地元戦に競つて強くなる。長年S級で地元ファンを沸かせてきた名選手。その父の背中を追って育ってきた川越なら、きっちり期待に応える走りをしてくれることだろう。

水谷 好宏 大阪 93期



今期は久しぶりのA級戦となる水谷や調子を落とすとしていたが、スピードあるカマシ、まくりは健在だ。今期のA級戦に向けて話を聞くと、基本的にS級でもA級でもやる事は一緒です。自力で状態を戻していきたいですね。もし近畿の若手機動型が緒に勝ち上がってきたら、その時その時で自力が番手を回るか考えていくつもり」と降級後も自力基本の戦いとなりそうだが、川崎のバンクについては「結構相性良いほうだと思えますよ。1着も多めだし好きなバンクのひとつ」と語る。まだまだ本調子には遠い状態だが、徐々に上向いていく感はある。若手の機動型も多く近年はハイレベルになっているA級戦だが、水谷なら経験の差と持ち前のタフさとスピードで結果を出してくれそう。

URBAN BANK
かわさきケイリン

◎	○	▲	△	×	注	予	予
根田空史	中村浩士	小倉竜二	成田和也	齊藤竜也	井上昌己	藤根俊貴	松岡健介
千葉	千葉	徳島	福島	神奈川	長崎	岩手	兵庫
94	79	77	88	73	86	113	87
S1	S1	S1	S1	S1	S1	S2	S1
8回	3回	6回	2回	1回	7回	8回	10回
3回	5回	7回	7回	6回	2回	9回	3回
1回	4回	5回	3回	3回	2回	0回	5回
11回	22回	13回	15回	18回	17回	4回	9回
0回	0回	0回	0回	1回	0回	1回	0回
0回	0回	0回	0回	0回	0回	1回	1回
23回	34回	31回	28回	29回	22回	28回	28回
34.70%	8.80%	19.30%	7.10%	3.40%	25.00%	36.30%	35.70%
47.80%	23.50%	41.90%	32.10%	24.10%	32.10%	77.20%	46.40%
52.10%	35.20%	58.00%	42.80%	34.40%	39.20%	77.20%	64.20%
9回	0回	0回	0回	1回	1回	4回	10回
12回	0回	1回	0回	0回	1回	15回	3回
111.13	110.20	115.70	108.44	106.82	110.10	109.04	109.74

決勝想定メンバー